

活動報告書 12月号

2021.11.30

モーニングセミナーピックアップ

11月6日 山中 浩晃 氏



『やまのぶ流倫理経営のすすめパート2』

前日のパート1に引き続き、数々の苦難を倫理経営で乗り越えた体験を講話して下さいました山中浩晃豊田市中央倫理法人会会長。今はMSと同じ、仲間を承認する雰囲気、を会社に落とし込むのが目標とのことです。

11月20日 宇波 育代 氏



『伝えることが私の使命・子育てを通して感じる自己肯定感の大切さ』

声で人を幸せにできる仕事に憧れてアナウンサーになったと話す宇波育代会員。子育てで悩んでいた時に役立ったのが仕事で身につけた傾聴力。親子共に成長できたのは関わり方を工夫したからと話します。

11月20日 中部4単会実践報告会



当会からは運営委員の居初 邦夫 氏が登壇。たとえ返事が返ってこない相手にも自ら率先して挨拶する実践を続けた結果、思わぬ形で職場で嬉しい成果を生んだと話しました。挨拶こそ全ての基本になると実感し今でも大切に毎日実践しています。(金井 政秀)

だと話しました。挨拶こそ全ての基本になると実感し今でも大切に毎日実践しています。(金井 政秀)

11月21日 クリーン大作戦



朝から掃除すると気持ちいいですね！落ち葉は自然ですが、相変わらずのポイ捨てタバコ、飲み物のストローカップ、ビール空き缶など沢山ありました。(平岡 伸浩)

次回は12月19日(日)7:00~ホテルアソシア前

倫理実践・体験報告



先月京都市美術館にて開催された「国際芸術祭」に出展をさせていただきました。普段の私は、生徒さんの描いてきたデザインを手直ししたり、オーダーをしてくれたお客様の好みのデザインで作品を起す事に徹していますので、自分自身のスタンドグラスの作品を作るチャンスは1年に1度ほどしかないので、楽しく幸せな「私の為だけの作品づくり」は夜に行います。誰もいない工房で、これから使う複数の道具達に「今日もよろしくね」とタッチをしてから作業を始め、上手くカット出来たり組めたりした時には「んも〜♡ありがとう！」と口に出して言うという、側から見たらちょっとヤバイ実践を行ってみました。制作のスピードがこれまで以上に早かった事、たいした怪我もなく関西の先生方に作品をお褒め頂いたのは...これらの実践のお陰様なのではないでしょうか？ (かわもとみえ 専任幹事)

配布責任者 三浦 健二郎